

地域別対話会(タウンミーティング)でいただいたご意見と回答

令和6年10月6日 小林コミュニティプラザ

No.	テーマ	分類	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
1	IT教育の格差について	教育・子育て	共通	パソコンを子どもたちが持っていますが、使える学校と使えない学校があり、学校による格差があります。先生のIT教育について考えていただけますか。	学校間格差についてですね。ICTデジタル教育では、原山小学校が日本で一番進んでいるデジタル教育を行っています。原山小の子供たちが世界大会に出場し、レゴブロックのロボットを動かす大会で優勝しました。市内全学校でこのノウハウを展開し、日本で一番のデジタル教育を提供できるように努力しています。	—	指導課
2	コミュニティスクールについて		共通	子育て・教育の面では、少子高齢化が問題となっています。地域の人たちが子供たちをサポートし、地域と子供たちがつながる場を作ることが重要です。	地域との連携について、私も共働きの両親の元で育ち、地域の重要性を理解しています。新しい教育長の渡邊義規先生も、協力的な地域であると評価しています。来年度からコミュニティスクールのモデル校を指定し、地域の方々が学校に関わる取り組みを進めていきます。	—	子育て支援課
3	インクルーシブ教育について		共通	特別支援が必要な子供たちが増えています。子供たちの健康状況や支援の方法を調べてください。	インクルーシブ教育について、特別支援級のスタッフの確保が難しい現状があります。大学との連携を進め、支援級のスタッフの評価やフリースクール支援の強化を図っています。	—	学務課
4	スクールバスについて		別所	来年度から子供が小学校に入学しますが、スクールバスが通っていません。ふれあいバスを利用することになりますが、スクールバスの運行を検討していただけますか。 木下小に通う子供が増えており、スクールバスの運行をお願いしたいです。	別所地区は自然豊かな地域で子育て世代も増えている地域と認識しています。今後どのような対応ができるか、持ち帰って検討していきます。	小学校へのスクールバス運行につきましては、学校までの通学距離が3km以上、通学路となる道路において登下校時に大型車の交通量が多く、スクールバスの代わりとなる路線バス等の交通手段がない地区の児童の安全性や身体的な負担を軽減するために運行しております。 皆様からのご意見を参考にさせていただき、引き続き、市内全域における児童生徒の通学状況を確認しつつ、安全な通学方法につきまして検討してまいります。	学務課
5	ワクチン接種について	医療・介護・健康・福祉	共通	ワクチンの危険性について皆さんに知ってほしいです。	コロナワクチンについては、国内外の動向やエビデンスを注視しながら、適切な判断をしていきます。	—	健康増進課
6	タクシー利用助成制度について		共通	介護タクシーの利用が増えており、近くのスーパーなどに行けるようになってほしいです。	本埜地区では高齢者向けのタクシー助成の実証実験を行っています。結果を見ながら、交通が不便な地域に広げていきたいと考えています。	—	高齢者福祉課
7	介護支援専門員不足について		共通	ケアマネージャーの数が不足しており、現状を知っていただきたいです。	地域包括支援センターからも同様のご指摘をいただいています。現場の声を聞きながら、事務のデジタル化など、できることから進めていきます。	—	高齢者福祉課
8	医療機関へのアクセスについて		共通	小林には歯科を除いて1つしか病院がありません。近くの病院に行けるようにしてほしいです。	医療アクセスの改善が重要と考えています。公共交通網を整備し、病院や買い物に行きやすい環境を作っていきます。オンライン診療の普及も進めていきます。	—	健康増進課
9	観光政策について	産業・観光	共通	若い人を対象にしたテーマパークを作れないかと考えています。	市として観光面でのポテンシャルは高いと考えています。民間の活力を活用し、地域の賑わいを作っていきます。	—	経済振興課
10	交通渋滞について	交通・インフラ・防災	牧の原	464号に向かうサイゼリヤの交差点が渋滞しています。右折を増やすなどの工夫で解消できるのではないかと思います。	多くの市民の皆さまから声をいただいています。渋滞の解消に向けて県と協議を進めていきます。	—	道路建設課
11	交通渋滞について		鹿黒	ニュータウンと大森の道路が混雑しており、大型車が通るため危険です。		—	

12	高齢者の居場所づくりについて	地域づくり	小林	小林的駅前広場の活用について、高齢者が集う場所が欲しいです。	駅周辺施設の空きテナントを活用し、住民が集える場所を作りたいと考えています。 南口のロータリーも12月から供用開始となりますので、イベントなどをご利用いただけます。利用状況については確認します。	イベント等で路上を使用する際には、「地域活性化の観点から地方公共団体が当該イベントを支援すること」など各種要件を満たす必要があります。また、道路法の基準を遵守した上で、道路管理者や警察、公共交通機関等との協議・調整が必要となります。なお、現在ロータリーを使用している朝市会やお祭りに関しましては、ロータリーの整備計画時から協議を重ねた上でご利用いただいております。	高齢者福祉課、土木管理課
13	地域格差について		小林・木下	小林地区や木下地区にも光が当たるような市役所の方針を応援したいです。	地域ごとの魅力を伸ばし、どの地域に住んでいても住みやすく、特色あるまちづくりを考えています。	—	交通政策課
14	ふれあいバスのルートについて		小林	ふれあいバスのルートを改善してほしいです。具体的には、小林から印西牧の原駅北口への直通ルートを提案します。小林牧場からまっすぐ進み、牧の原駅北口を経由してジョイフル本田を右折し、印西総合病院を通って鳴沢へ向かうルートです。鳴沢と小林牧場の間には停留所がないため、停留所を追加していただくと、将来的に免許を返納した際に便利になると思います。	持ち帰って状況を確認します。	ふれあいバスの運行については、民間路線バスとの役割分担のもと交通不便地域の解消と民間路線バスを補完するバスとして運行することを目的としております。 小林地区から牧の原駅北口までの、運行ルートについては、民間路線バス(小林線)が運行しており、ふれあいバスとの路線重複は、民間路線バスの経営への影響が懸念され、東ルートの牧の原駅への乗り入れは難しい状況であることから、現在、民間路線バス(小林線)のご利用をご案内しているところです。	交通政策課
15	広報について	市役所づくり	共通	広報の方法を改善し、若い世代にも情報が届くようにしてほしいです。	公式ラインなどを活用し、広報の方法を改善していきます。	—	秘書広報課
16	事業連携について		共通	民間の人や企業との協力関係について、市長はどう考えていますか。行政と民間の連携について、印西市ではどのように取り組んでいますか。	私のキャリアの柱の一つが公民連携です。印西市には、様々な専門性やスキルをお持ちの方が多くいらっしゃいます。こうした市民の力をまちづくりに活かして、活力のあるまちづくりをすすめていきます。	—	企画政策課
17	事業連携について		共通	市民連携ですが、現在、印西市ではあまり盛んではないので、連携していくことで、さらに活力のある街づくりができるのではないかと考えます。	全国の地域を見てまいりましたが、これほど市民活動が盛んな地域は他にありません。市民の皆さんと共にまちづくりをすすめていくために、その仕組みや仕掛けについて今後も考えてまいります。	—	市民活動推進課